

【知事臨時記者会見】10月25日

● 令和4年度11月補正予算案

11月補正予算額は70億円、補正後予算額は5,932億円。

原油価格・物価高騰対策に48億円。6月補正で31億円、9月補正では13億円の対策を行った。国から9月に追加配分された臨時交付金41億円を活用し、将来に向けた構造改革につながる対策を講じる。

新型コロナウイルス感染症対策20億円は、入院患者の医療費の公費負担分など継続的に必要な予算。

通常補正は、災害対応などに2億円。

● コロナ禍における原油価格・物価高騰対策

光熱費等の負担増に直面する現場を支援

医療、福祉、保育現場は、国の定める公定価格で運営されている。原価が上がっても価格に転嫁できないため、経営努力だけでは対応できない。

入院、入所施設には、病床・定員当たり加算措置し、救急病院から訪問系の事業所など規模に応じて応援金を支給する。対象は、医療機関、高齢者施設、障害者福祉施設、保育所や幼稚園など。

私立中高、専修学校、県立学校の空調、SSPアスリート寮には、保護者負担の増加や教育活動への影響が懸念される。そこで、電気、ガス料金の高騰分相当を補助する。補助率10/10。

水利施設光熱費サポート補助金は、土地改良区が管理する農業水利施設に電気料金高騰分の2分の1を補助する。

農漁家が前を向いて農業・漁業を続けるために

888運動で、園芸農家に力を入れている。燃油高騰は、園芸とお茶には死活問題。ハウスミカンでは、経営費のうち約4割が光熱費。1年間の燃油使用量に対し、区分を設け、定額の応援金を支給する。

昨年は船底の清掃費用、9月補正ではエンジンのメンテナンス経費を支援した。今回は、1隻当たりのトン数に応じた定額給付。5トン以上の船は4万円、5トン未満は2

万円。早い段階での支援、わかりやすい支援の両面を取り入れた。

燃油価格・物価高騰対策第2弾 中小企業にエールを！

6月補正で、中小企業向けに第1弾を打った。第2弾は、その約半分の支援。貨物自動車1台あたりの支援額は、大型トラック3万円、中型トラック2万円、小型トラック1.5万円。貸切バスは2.5万円、ガソリン車タクシーには1万円を支援する。

建設業、製造業、宿泊業、クリーニング業など燃油を多く使用する業種で、6月の第1弾支援金を受けた事業者に対し、その半分の支援する。

第1弾の支援金は、10月31日まで受付している。対象の事業者は、今月中に申請すれば、第2弾の2分の1申請の対象になる。

令和4年11月1日以前から事業を継続しているすべての中小企業に対し、法人には10万円、個人には7.5万円を支援する。

県内事業者の新たなチャレンジを継続的に支援

県内中小企業に対して、令和3年6月補正から、第1弾、第2弾、第3弾と新事業チャレンジ補助金を行った。

第1弾では、313事業者に対し、コロナ禍での新事業展開を促進。キッチンカーやリブランディングを支援した。第2弾では、149事業者にワーケーション型宿泊のための客室改修など、非接触販売充実への取組を促進。第3弾では、100の新事業に係る設備導入を促進。第4弾では、300事業者へのデジタル活用、サービス価値向上など新しいチャレンジに支援する。1事業者に50万円から200万円、補助率は3分の2以内。

建設DXで生産性向上と省エネ化を実現

ICT建機分野では、ICT機能を付加させる費用の補助。3次元測量分野には、レーザースキャナーやそれを搭載するドローンなど機器購入の支援。また、技術者育成支援として、操作研修受講料に対し補助する。補助率は3分の2以内。

鉄道・バスをもっと身近にもっと使いやすく

歩くライフスタイルへの転換を図りたい。佐賀さいこうフェスで、バスを無料にしたところ、利用者が多かった。そこで、「さがバスまるっとフリーDAY」を作り、実証実験をする。これは、来年1月と2月の水曜日と日曜日に、県内すべてのバスを無料にする。県内をバスで巡るマップを作るなど、バスの楽しみ方の企画を考えたい。

コミュニティバス、デマンドタクシーの省エネ車両への買い換え、コミュニティバス

等へのエコタイヤの購入などに支援する。市町が事業主体の場合は補助率2分の1。事業者が主体の場合は、省エネ車両への買い換えは補助率3分の2、オプション追加は補助率4分3。

松浦鉄道利活用プロモーション事業は、伊万里市と有田町の小・中学生約6,000人に、1日無料乗車券を配布する。また、階段の滑り止め加工や駅名標の更新、屋根やトイレのリニューアルに、補助率4分の3を支援する。

● 新型コロナ感染症対策

コロナ対策はウイルスの特性に合わせて臨機応変に

PCR検査・抗原検査の委託料、登録センターの期間延長、検査キット購入、医療費の公費負担など、継続的なコロナ対策を着実に実施するため増額補正する。

九州佐賀国際空港 国内線・国際線誘客へアクセルオン

10月11日から国の水際対策が大幅に緩和され、インバウンドの皆さんが入ってくる。

今回は、台湾のタイガーエアと韓国のティーウェイ航空の航空券割引キャンペーンで、スタートダッシュを図りたい。その他、水際対策も新たに整備する。

全搭乗者に片道1,000円分のクーポンを配布。空港テナントで、一定額以上利用した場合、ダブルチャンス抽選会として県産品等をプレゼントする予算も計上している。

● 通常補正分

県立の「夜間中学」でみんなの“学びたい”を実現

教育長／夜間中学の設置場所は、県立佐賀北高校通信制校舎。令和6年4月開校。施設整備の実施設計に当たる予算255万円を計上した。

県内全域から通学が可能であること、ユニバーサルデザイン校舎であり、誰もが使いやすいこと、必要な教室が1つの校舎におさまるため同校に決めた。

通信制は、月に2回、日曜日と月曜日の昼間にスクーリングをするため、夜間中学の利用時間と重ならない。施設の有効活用ができる。

今年度予算で実施設計し、来年度は職員室の整備、教室の壁をパーティション型に変える。学びたい志を持ち、それぞれの目標に向かう人を応援できる学校にしたい。

防波堤をすみやかに復旧 呼子港に安心・安全を

台風 14 号で、呼子港の防波堤が損傷したため原形復旧する。国庫補助も含め 6,900 万円を計上。